

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	現代ギリシャ詩の可能性 : オンライン詩人 Kyoko Kishida
Author(s)	佐藤, りえこ
Citation	プロピレア , 25 : 86 - 86
Issue Date	2019-08-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00048247
Right	Copyright (c) 2019 日本ギリシア語ギリシア文学会
Relation	



現代ギリシャ詩の可能性

——オンライン詩人 **Kyoko Kishida**——

佐藤 りえこ

ギリシャはこれまで二度の経済危機、いわゆる「ギリシャ危機」を経験した。世界的にユーロが急落し同時に株価が暴落する連鎖反応を引き起こした最初の危機（2010年）では逼迫する財政を立て直すため政府がとった緊急財政政策によって国民は多大な負担を強いられた。2015年には緊縮財政政策に反対する一派が政権を握りギリシャのEU残留を条件に金融支援を受け二度目の「危機」は回避された。

低迷する経済状態、儉約を強いられる日々の暮らしのなか革新的な古典劇の上演により観客動員数が増加したり発表媒体が多様化し盛んに文学作品が生み出されたりと文化的活動は逆に活性化していく。詩選集『新ギリシャ詩：緊急財政政策』（K.ヴァン・ダイク編、2016年、希英対訳）には文芸雑誌に掲載された詩だけでなくインターネット上の投稿サイトやインスタレーションで朗読された詩も収録されている。

ギリシャにおけるインターネット上の投稿サイトで先駆的な存在である *Τεφλόν* (2009-) を主宰する詩人 **Kyoko Kishida** (1983-) の作品も五編この『緊急財政政策』に収められている。古典的な素材を再利用した作品「ロトパゴスたち」は、ホメロスの『オデュッセイア』第九書に歌われているロトパゴイ（蓮の実喰い）のエピソードを本歌取りしたもので、EU圏にとどまりユーロがもたらす豊かさを象徴する「蓮の実」をただ喰らうばかりで、経済的にも精神的にも瀕死の状態にある祖国を救済するという使命をすっかり忘れ果てた現代の「ロトパゴスたち」を **Kishida** は痛烈に批判している。

なおこの訳詩選集にはロトパゴイを素材にした別の詩人による作品、**Jazra Khaleed** の「Re : ロトパゴスたち」と **Φοίβη Γιαννίσση** の「(ロトパゴスたちII)」(原題に () あり) も収録されている。